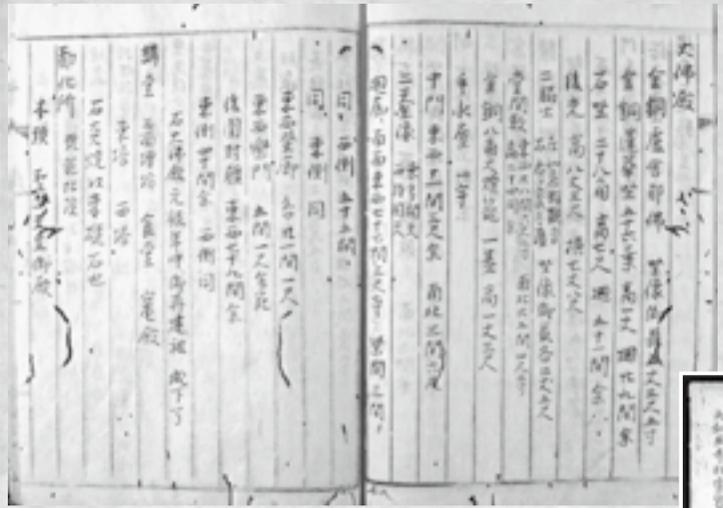


香取遺産

Vol.106

伊能忠敬記念館 ☎(54)1118

やまとのくにじしやれいほうろく
大和国寺社靈宝録
計量される仏像



▲東大寺大仏殿についての記載

大和国寺社
靈宝録表紙

忠敬、謎の行動

日本地図作製のために全国を測量した伊能忠敬は、その旅の途中、奈良盆地周辺で不可解な行動をみせます。測量地図をみると、主要な街道から離れた寺社の社前や門前に向かって忠敬が測量した線（測線）が延び、再び街道に戻って測量を続けていることがわかります。また、無測量で寺社や古墳などを見ながら移動している場合もあります。約1カ月をかけて、飛鳥時代の建築物が残る法隆寺や薬師寺をはじめ、東大寺、唐招提寺、長谷寺、吉野の金峯山寺などを訪れています。

仏像の「測量」

当時から奈良は観光名所として名が知られていました。忠敬も寺社めぐりが奈良測量の大きな目的だったと思われるのですが、しかし、それは単なる観光のためではなかったようです。この測量の過程で忠敬は「大和国寺社靈宝録」を残しています。内容は寺社の縁起、宝物の一覧です。特筆

されるのは、建物や仏像の長さや大きさも記録していることです。例えば、大仏で有名な東大寺では「金銅盧舎那仏座像御長五丈三尺五寸（16・2m）」と、大仏の大きさが記されています。

尺度調査のために

古くから、長さの単位（尺度）には曲尺や鯨尺などいくつもの種類があり、時代や地域、目的などによってさまざまに尺度が用いられていました。測量や地図作製の上で、尺度は大変重要なポイントでした。奈良での測量を終えて忠敬が江戸に戻った後、忠敬の先生の間重富は、中国の古い尺度を明らかにするため、建築年代の古い寺の仏像、釣鐘などを測定しています。忠敬は、この古尺調査の下調べや情報収集のために、寺社を訪れたのではないかと考えられています。

文芸

作品募集

はがき1枚に俳句2句・短歌2句または「短歌」の係まで。毎月15日までの到着分（12月10日締切）を審査し、翌月号に掲載。掲載される作品は、選者により評を踏まえて添削される場合があります。

香取俳壇

佐藤 泰之選

三月や十日十一 祈りの日

小松原 忠（府馬）

評 七十年前の東京大空襲と四年前の東日本大震災により、大勢の尊い命が失われた。ともにこの三月で、悪夢のような戦争と天災に憶い馳せ、追悼と鎮魂のお祈りした日です。

生きている証の電話春の声

清水 和子（神生）

米安値なれど今年も種浸す

宮本 かつ子（大島）

祈りとは心のことば花便り

奥村 利夫（一ノ分目）

畑の径春告鳥か耳目呼ぶ

宮崎 弘（白井）

紙一重水の一重と澆きあがる

村田 琴（香取）

香取歌壇

稲村 恒次選

・旧仮名遣い

乳飲みしままの唇尖らせてまどろむ孫よ暁の長し
奥村 利夫（一ノ分目）

評 今月は春の到来を主題にした作品が多かった中で、この一首を採った。「孫は子よりかわい」というが、ここにはいかにも目を細めている作者がいる。あくまでも主観を抑えて在りのままを表白して成功した。結句が効いた。

晴れ渡る空をバックに紅梅のほころび初めたり目白も渡り来
菅谷 文子（神生）

水たまりに雀が数羽代わる代わる浴みては梅に次々移る
細野 しけ（仁良）

たんぼの穂絮は今か待ちをらむ利根の堤に旅立ちの風
嶋田 武夫（下飯田）

川土手の枯れ草中のひと群の青きに寄ればいぬふぐりの花
篠塚 みのり（小見川）

水面にて羽ばたく鴨の群れ多し北帰の用意か日々春めき
繪鳩 昌之（府馬）

編集後記

先日、香取神宮で行われた御田植祭の写真を撮りに現地へ赴きました。これが私の初仕事。一眼レフを持つ手もおぼつかないへつぱり腰で、見かねたベテランのカメラマンたちから助言をいただきながらの撮影…。振り返ると反省点ばかりですが一歩ずつ上達しようと思いを新たにしました。

四月の人事異動により秘書広報課に配属となりました。これまでとは異なる業務に戸惑いながらの毎日ではありますが、少しでも早く香取市の魅力を市民の皆様にお伝えすることができるよう、汗をかき、頭をフル回転させ、全力で取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

今月の納期限

4月30日(木)

固定資産税 (1期)

今月の休日納税相談日

4月26日(日)

水郷佐原水生植物園

園水郷佐原水生植物園 ☎(56)0411

■入園料

◇4月…大人200円、小中学生100円

◇5月…大人500円、小中学生250円

アマリリス展

大輪の花 品種も充実



4月15日(水)～5月10日(日)

90種類・240鉢の豪華な八重咲きや色とりどりの希少なアマリリスを展示。

■日時 4月15日(水)～5月10日(日) 9時～16時30分

観藤会

初夏の香りを感じて



4月25日(土)～5月8日(金)

薄紫や淡いピンクの長い花房をつけ華やかに咲き誇る藤の花は、万葉集にも詠われる日本古来の花木。長さ100mの藤棚は目を見張る大きさです。また、人気のさつぱ舟で花を見ながら園内巡りも楽しめます。

■日時 4月25日(土)～5月8日(金) 9時～16時30分



平成27年(2015)4月15日号 No.218

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp